

- ◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(60歳代及び70歳代男性)(第50週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は41例となりました。

・ 水痘(入院例)の報告が1例(10歳代男性)(第50週追加報告分)ありました。症状は発熱, 発疹, 心筋炎です。感染地域は国内で, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は8例となりました。

・ 梅毒の報告が1例(20歳代男性)(第48週追加報告分)あり, 症状は梅毒性バラ疹です。感染地域は国内で, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は64例となりました。

梅毒は早期には薬物治療で完治できますが, 検査や治療が遅れたり, 治療せずに放置すると, 脳や心臓に重い合併症を引き起こす危険があります。感染予防のために, 性行為時にはコンドーム等を適切に使用しましょう。また, 性器や口腔周囲に異変を感じたら, 性行為を控え, 速やかに医療機関に相談し, 早期発見・早期治療することが重要です。

京都市では, 平日昼間, 土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を匿名で実施しています。詳細については, 下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

・ 百日咳の報告が3例(10歳未満女性3例)(第47週追加報告分含む)ありました。本年の累積報告数は113例となりました。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は, 前週の12.75(880例)から17.46(1,205例)に, 全国でも前週の15.62から, 21.22に増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。
- ◆ 発生状況
- 全数把握の感染症
- (性別, 年齢, 症状, 感染地域[※], 感染経路[※]の順に掲載。)
- ・ 二類:結核 6例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 323例(肺結核 143例, その他結核78例, 潜在性結核感染者 102例)うち喀痰塗抹陽性 68例】

・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 41例】

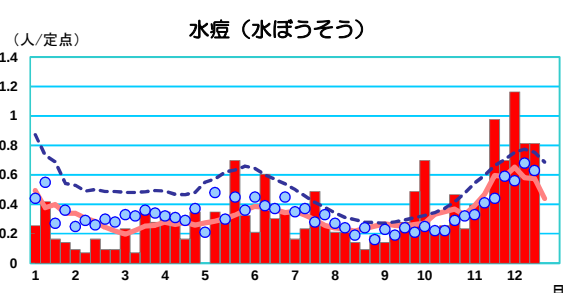
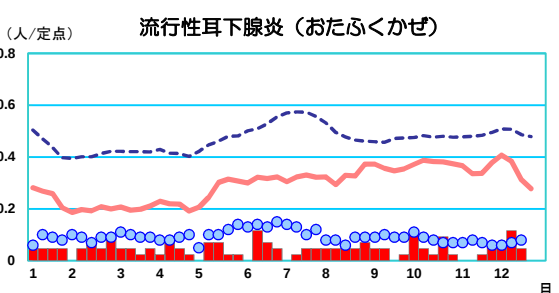
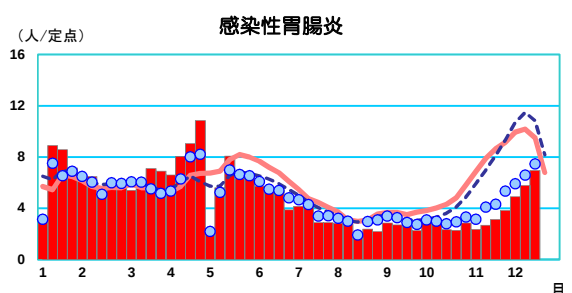
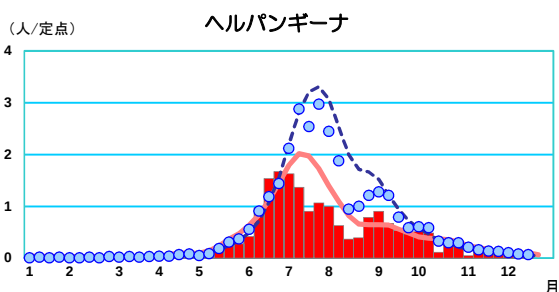
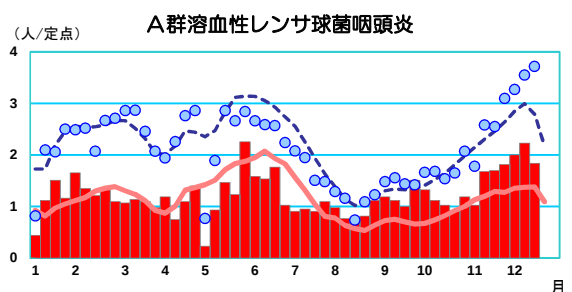
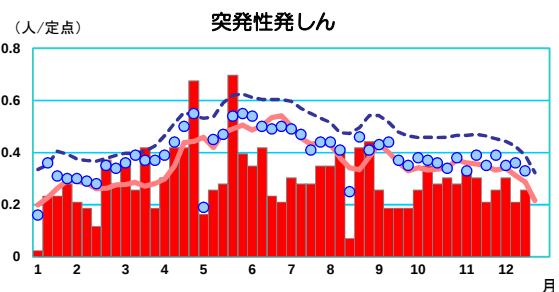
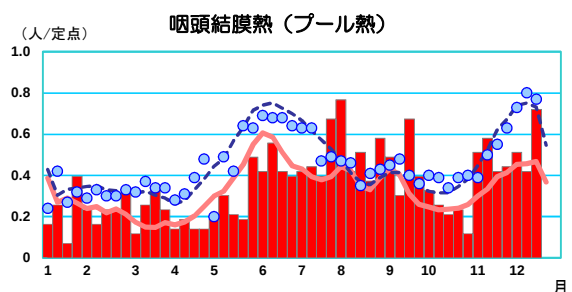
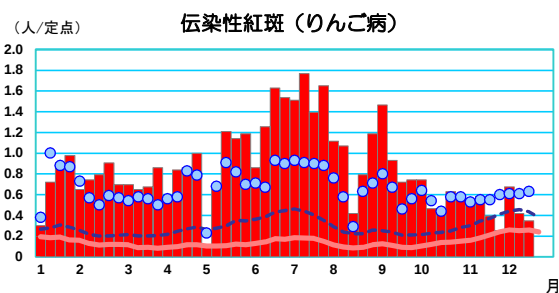
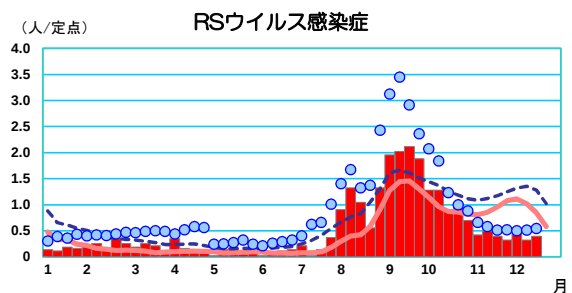
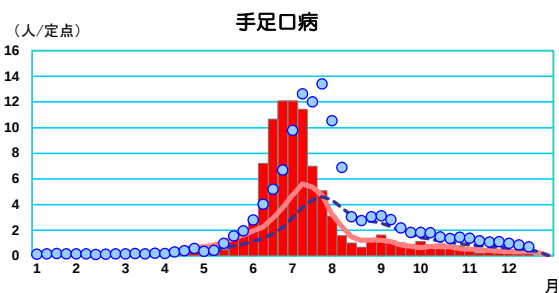
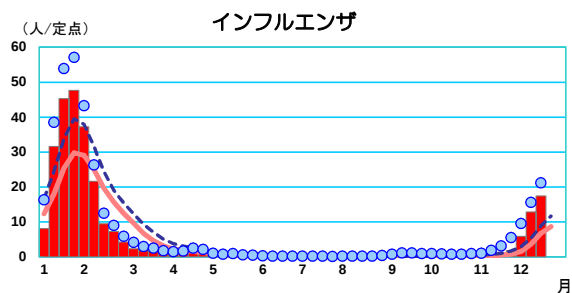
・ 五類:水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 8例】

・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 64例】

・ 五類:百日咳 3例【1月以降の累積報告数 113例】
- 定点把握の主な感染症
- (市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)
- | 定点 | 感染症名 | 定点当たり報告数 | 報告数 |
|----------------------|-----------------|----------|--------|
| インフルエンザ [※] | インフルエンザ | 17. 46 | 1, 205 |
| 小児科

(降順5位まで) | ① 感染性胃腸炎 | 6. 95 | 299 |
| | ② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 1. 84 | 79 |
| | ③ 水痘 | 0. 81 | 35 |
| | ④ 咽頭結膜熱 | 0. 72 | 31 |
| | ⑤ RSウイルス感染症 | 0. 40 | 17 |
| | ⑤ 手足口病 | 0. 40 | 17 |
| 眼科 | 流行性角結膜炎 | 0. 20 | 2 |
- 【次ページ以降の主な内容】
- 発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)
- (注) 京都市のデータは, 2019年12月25日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
[※] 感染地域及び感染経路については推定を含みます。
- Kyoto City Infectious Diseases Weekly Report

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第51週(12月16日～12月22日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は前週の12.75(880例)から17.46(1,205例)に、全国でも前週の15.62から、21.22に増加しました(図1)。

インフルエンザは、重い合併症を引き起こすことが知られています。たとえば細菌性の二次性肺炎を引き起こすことで、高齢者や基礎疾患を持つ免疫不全患者では重症化することが報告されています。また、インフルエンザ関連脳症と呼ばれる、重度の中枢神経症状を呈する急性脳症(以下「インフルエンザ脳症」という。)が小児を中心に報告されています。

急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、2003年11月から全例を届け出ることが義務付けられました。インフルエンザウイルスが原因病原体であると報告されたもののうち、2014年第36週～2019年第51週に診断された症例について図2にまとめました。インフルエンザ定点当たり報告数のピークの時期と、インフルエンザ脳症の報告数のピークの時期はよく一致し、インフルエンザ自体の流行に伴い、インフルエンザ脳症の報告数も増加することがわかりま

インフルエンザを予防する有効な方法としては、

- ・ワクチン接種
- ・外出後の手洗い等
- ・適度な湿度の保持
- ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・人混みや繁華街への外出を控える

などがあります。

このほかのインフルエンザ発生状況の詳細や予防対策については下記URLを御参照ください。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

○インフルエンザの発生状況について(健康安全課のホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

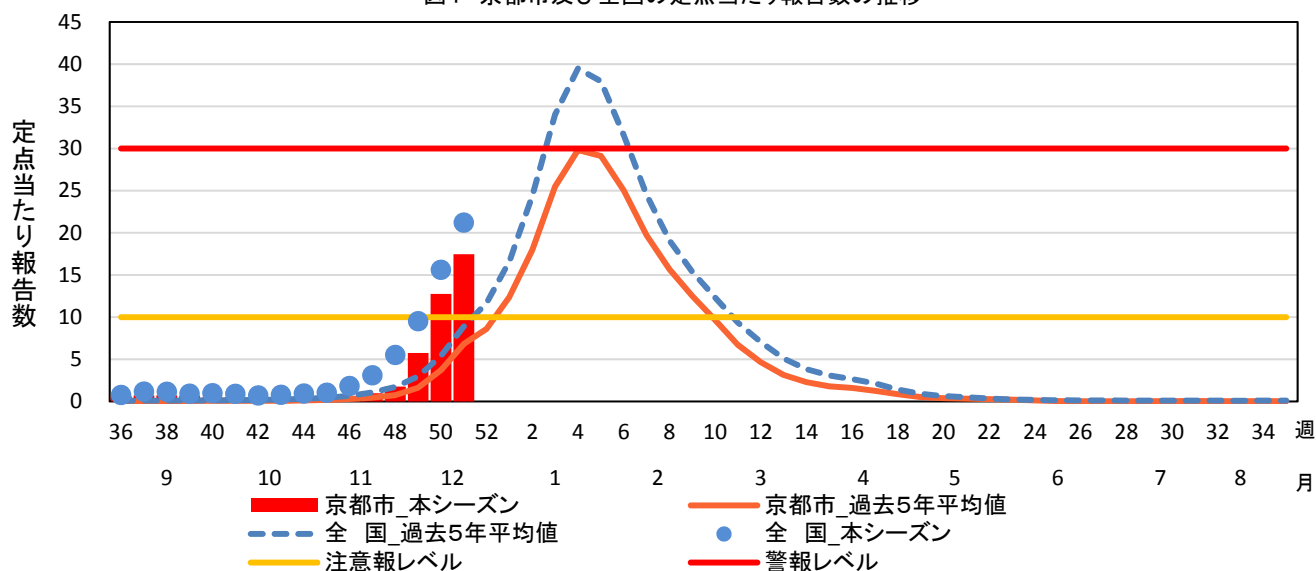
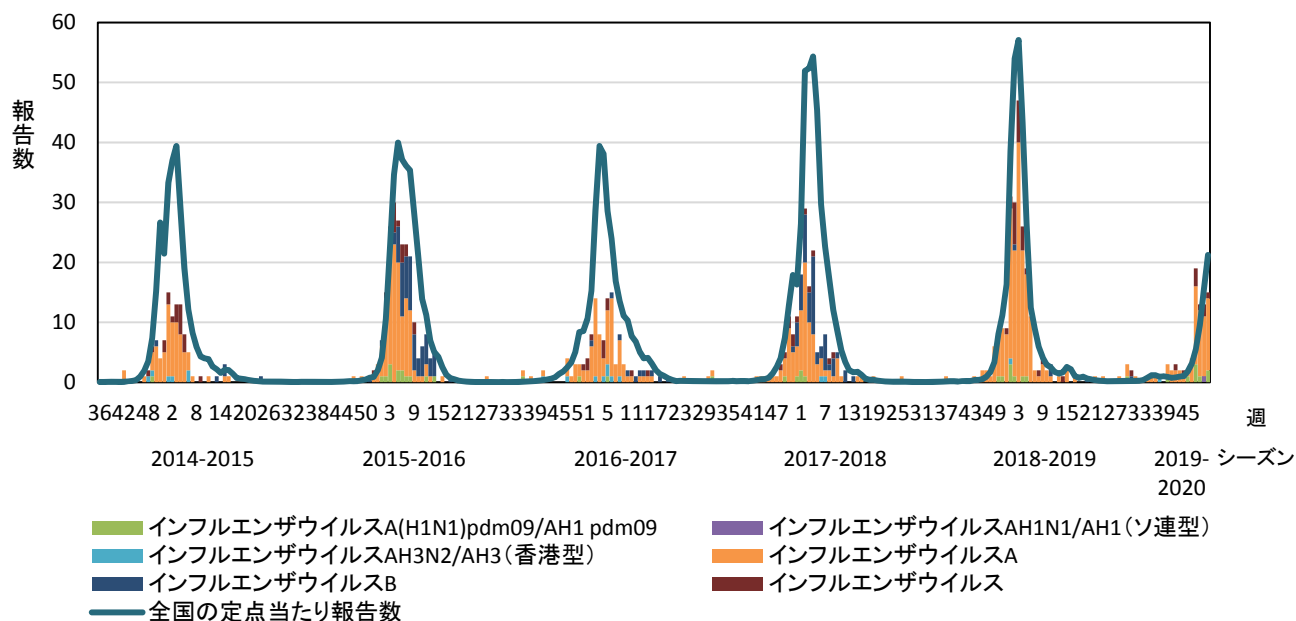


図2 全国の急性脳症報告のうちインフルエンザウイルス由来の報告数と定点当たり報告数の推移



T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第51週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年12月16日～2019年12月22日

データ入手日:2019年12月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上	65歳－	70歳以上				
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	880	－	8	30	31	25	49	48	45	81	68	43	208	28	43	36	73	27	12	17	8
RSウイルス感染症	年齢3	15	4	3	5	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		18	－	1	3	3	6	1	2	2	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		93	－	1	5	4	6	7	18	13	6	8	8	12	2	3						
感染性胃腸炎		241	2	11	41	34	30	20	12	19	11	11	9	19	1	21						
水 痘		38	－	－	4	5	5	4	2	2	4	2	4	3	2	1						
手 足 口 病		15	－	－	9	1	－	1	2	－	1	1	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		19	－	－	－	2	4	7	3	1	1	1	－	－	－	－						
突発性発しん		9	－	5	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		5	－	－	－	1	－	3	－	－	－	－	－	1	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	12.75	－	0.12	0.43	0.45	0.36	0.71	0.70	0.65	1.17	0.99	0.62	3.01	0.41	0.62	0.52	1.06	0.39	0.17	0.25	0.12
RSウイルス感染症	年齢3	0.35	0.09	0.07	0.12	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.42	－	0.02	0.07	0.07	0.14	0.02	0.05	0.05	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.16	－	0.02	0.12	0.09	0.14	0.16	0.42	0.30	0.14	0.19	0.19	0.28	0.05	0.07						
感染性胃腸炎		5.60	0.05	0.26	0.95	0.79	0.70	0.47	0.28	0.44	0.26	0.26	0.21	0.44	0.02	0.49						
水 痘		0.88	－	－	0.09	0.12	0.12	0.09	0.05	0.05	0.09	0.05	0.09	0.07	0.05	0.02						
手 足 口 病		0.35	－	－	0.21	0.02	－	0.02	0.05	－	0.02	0.02	－	－	－	－						
伝 染 性 紅 斑		0.44	－	－	－	0.05	0.09	0.16	0.07	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－						
突発性発しん		0.21	－	0.12	0.07	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.02	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.12	－	－	－	0.02	－	0.07	－	－	－	－	－	0.02	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	0.10	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－			

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第51週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年12月18日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		32	38	67	122	396	880
RSウイルス感染症		18	21	17	14	18	15
咽 頭 結 膜 熱		22	25	18	19	22	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	72	73	78	84	93
感染性胃腸炎		101	115	135	165	207	241
水 痘		17	17	42	30	46	38
手 足 口 病		22	9	13	16	20	15
伝 染 性 紅 斑		22	25	17	11	28	19
突発性発しん		14	13	9	11	13	9
ヘルパンギーナ		2	5	6	3	3	1
流行性耳下腺炎		－	－	1	3	3	5
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	1	2	2	2
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		294	340	399	474	842	1,336

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.46	0.55	0.97	1.77	5.74	12.75
RSウイルス感染症		0.42	0.49	0.40	0.33	0.42	0.35
咽 頭 結 膜 熱		0.51	0.58	0.42	0.44	0.51	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.02	1.67	1.70	1.81	1.95	2.16
感染性胃腸炎		2.35	2.67	3.14	3.84	4.81	5.60
水 痘		0.40	0.40	0.98	0.70	1.07	0.88
手 足 口 病		0.51	0.21	0.30	0.37	0.47	0.35
伝 染 性 紅 斑		0.51	0.58	0.40	0.26	0.65	0.44
突発性発しん		0.33	0.30	0.21	0.26	0.30	0.21
ヘルパンギーナ		0.05	0.12	0.14	0.07	0.07	0.02
流行性耳下腺炎		－	－	0.02	0.07	0.07	0.12
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		－	－	0.10	0.20	0.20	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		6.56	7.57	8.77	10.11	16.26	23.51

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。